

LPG新時代のユニークな情報紙

石油ガス・ジャーナル

メーター・バルクの需要期対応なら
お任せください!!



T&Dリース株式会社

毎月第1週には石油ガス関係のデータ記事
(DATA BANK) を掲載します。

発行所/石油ガス・ジャーナル株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-14 宇田川ビル3F
TEL.03(5157)8336 FAX.03(3581)5554
http://www.sekiyugasu-janaru.jp

★増頁号

平成29年(2017年)8月4・11日 金曜日 第1540号

熊本地震後のオール電化新築対抗にガス業界が結束

ーイベント開催に県LPガス協会も協力ー

熊本地震から1年余りが過ぎ、約3万戸が見込まれる新築住宅の建設がようやく始まったが、オール電化攻勢にガス業界は頭を痛めているという。昨年4月14日夜間の震度7の前震に続く16日深夜の震度7の本震により、交通網を含め多大なインフラが損壊し、家屋被害は全壊8,360棟、半壊3万2,261棟(昨年末時点の集計数)に及んだ。地震発生直後からLPガス業界は供給先点検・復旧作業、卸売事業者・他地域事業者などの支援により早期復旧を果たしたものの、顕在化し始めた新築住宅を見ると平屋・オール電化の比率が多くなったことで、ガス離れ防止策の試みとして事業者有志と(株)熊本県LPガス協会などが協力し7月26日、熊本県益城郡のグランメッセ熊

本で開催された。イベント概要と関係者の話を紹介する。

●新築情報で必要な耐震化と火災対策、協会は床暖房など3機種普及に注力

情報展の開催はリフォーム施工・販売ネットワーク組織「FHS」を主宰するリボンガス(株)の発案により実現した。土壌改善、耐震補強、ガス暖房熱源機、小型発電機等のメーカーや不動産、銀行などが協力し、後援には都市ガス・LPガス事業者、損保会社、

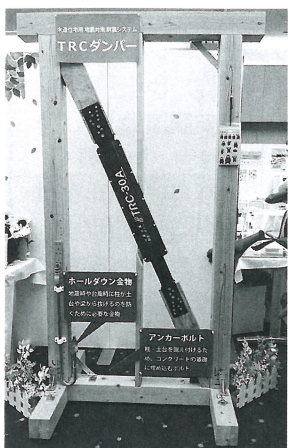
〈編集部〉次号は夏期特集号として、18日発行です。ご了承ください。



(左)内海リボンガス社長が安全な住宅・床材を説明

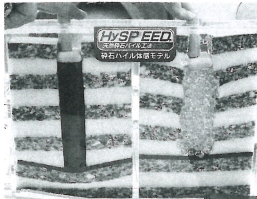


(上)FHSは床暖房システムや新床材を展示・説明



(左)木造住宅用制震システム「TRCダンパー」

(下)安価で安全な砕石注入の地盤改良工法「ハイスピード」の構図模型



(左)不動産・相続等相談コーナー



熊本ボルトターズ「ぼるたん」も参加

地元メディア、業界紙などが名を連ねた(主催:リボンガス内実行委員会)。集客には県のプロバスケットチーム・ヴォルターズが協力してマスコットの「ぼるたん」も一役買い、家族連れを見込みキッズスペースも設けられた。イベントの目玉は「復興お役立ち情報セミナー」(別掲)と「新築・リフォームに役立つ機器展示と相談コーナー」。セミナーでは内海久俊リボンガス社長が「新築・リフォーム予定の方必見! 温水床暖房が注目されている理由とは?」と題し、午前・午後2回の講習を行った。主な内容は①震災後、昨秋以降、温水床暖房の受注が急増している②火災は1件に止まったが、季節・時間帯が冬場・食事時であれば電気ストーブ、灯油ファンヒーター転倒による二次災害が多かった、懸念がある③温水床暖房は「床面に火気が無い」ため、いつでも安全に使用でき「エアコンに比べ足元が暖かい」「熱源がガスならば灯油の購入の必要が無い」「エアコン・ストーブ・ホットカーペット等、複数の電気機器を使用するより光熱費が安価」が特長④新方式の床暖房は床材を傷めず施工が簡易、床材もバリエーションがありリフォームコストも安価で仕上がりも良い⑤ストーブ火災とヒートショック事故の多さなどを説明し、導入者の声を紹介した。

また、今回初めて個別会員のイベントに後援・協力した(株)熊本県 LP ガス協会は、LP ガス業界の震災後の速やかな復旧とその後の支援活動を説明し、エネルギーとしての付加価値の高さをアピールした。

今回のイベント開催について内海社長は「手をこまねいていれば、新築の多くがオール電化になるだ

ろう。安全・健康・安価な光熱費等についてお客様は誤解している場合が多い。いかに電気、石油ストーブの火災が多いか、電気暖房が非効率でコスト高になるか、ヒートショック事故が多発しているのか、など生活レベルでの正しい情報を伝え、より安全で経済的な方法に導くことがガス業界の使命だと思っている。昨秋開催した感謝祭で、床暖房や耐震化について紹介したところ、大きな反響があり、床暖房リフォームが急増した。FHSでも賛同し、機会業務の中でこのことを訴求する会社も出てきており、実績も上げている。熊本だけでなく是非、全国へと拡がって欲しいと願っている」とその意義を伝えた。

今回、セミナー講師として壇上に立った大谷祐次熊本県 LP ガス協会専務理事は、震災後の復旧活動を振り返り「会長の指示で『チーム LPG』を立ち上げ、二次災害対応に当たったが当初は困難を極めた。卸事業者の顧客データ・工事力、小笠寺宏・前(株)宮城県 LP ガス協会会長の指導、伊丹産業(株)の支援など多くの業界関係者の協力があった、早期に成果を収めることができた」と述べ、今回のイベント協力について「オール電化住宅が再び増加する中、復興に向けて如何にガス併用住宅が優位かを示さなければならないと考えている。現在、需要開発には衣類乾燥機、浴室暖房乾燥機、床暖房の普及拡大を重要テーマに掲げ、活動を強化しようとしている。先進的、指導的役割を担う事業には協会として協力していきたいという方針だ」とその背景を語った。

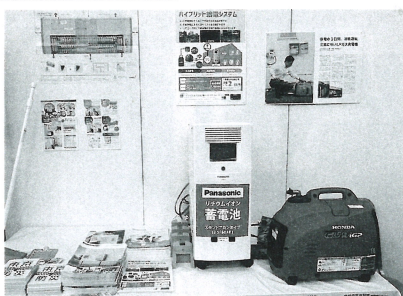
【セミナー】▷「温水床暖房」(前出)▷「家を建てる

(下)リンナイブースでは、ハイブリッド給湯器とガス衣類乾燥機をセット提案



(上)大谷・県協専務理事もイベントセミナーで「LP ガスの復旧の力」をアピール

(右)リボンガスは HO NDA・YAZAKI 発電機 + パナソニック蓄電池を「ハイブリッド給電システム」として紹介



○内は頁

- 〈企業情報〉▷関東EG会 分科会④ ▷アストモス、“CRYSTAL RIVER”命名式④ ▷ガスパル、都市ガス小売参入④ ▷エネクスファミリーDay⑤ ▷パロマ「FACEIS」フルモデルチェンジ⑦ ▷日ガス第1四半期決算「順調」⑧
- 〈団体情報〉▷日団協、「リスクアセスメント勉強会」④ ▷「高圧ガスセミナー」11月開催⑤ ▷石川県協、親子料理教室⑥ ▷日協「LPガス保安講演会」⑦ ▷関液協、「TEPIA 先端技術館」見学研修⑨ ▷振興C、南関東地方LPG懇談会⑩ ▷JLPA、9月に「バルク供給セミナー」⑩ ▷都スタ協、公明党へ要望書提出⑩ ▷神奈川県協、自民川崎市議団に要望⑩ ▷関東高圧ガス保安大会⑫
- 〈海外情報〉▷8月CP急騰、P420ドル、B460ドル⑤ ▷大幅続伸のLPガス国際市況⑨
- 〈トピックス〉▷6月LPガス需要は6.0%の大幅減⑧

前に知っておこう。地盤改良と液状化対策にHySPEED工法」(株)宇佐美工業▷「建替え前に知っておきたい不動産や相続の知識あれこれ」コーエイ(株)▷「震災を乗り越えて」熊本バスケットボール(株)▷「LPガス復興レポート震災後の復興活動」熊本県LPガス協会



企業情報

オブリック「環境ソリューション事業部」 新事業部で家庭～産業用まで省エネ・設備提案へ



篠原社長

オブリック(株)は7月1日、新規事業部として「環境ソリューション事業部」を立ち上げた。省エネ提案をテーマに他のエネルギー3事業部とも連携し、一般住宅から産業用施設まで幅広い分野でのエネルギーミックス、空調等設備機器の提案活動を本格的に行う。篠原松太郎社長は「社会環境の変化の一つにCO₂排出量の増加が挙げられる。一方、エネルギー自由化により我々も電気小売事業に参入(ENEOSでんき)することができた。設備機器や住宅・建築物は年々進化しているが、エネルギー等を総合的に提案できるプレーヤーは十分な数とは言えない。地域に根差し生活から産業までの様々な商材を扱ってきた経験を生かし、更にスキルアップすることで、地域産業ともより密接な関係を築いていきたい」、篠原和歌子常務は「省エネを推進することで地球温暖化対策に貢献し、次の世代により良い環境を残すことが、私達エネルギー事業者の使命となっている。新事業部には一層成果が上がるよう、積極的な取組みに期待している」と抱負を述べた。

EG、フォローアップ研修2講座

主婦にウケる雑談・家電製品の提案手法等テーマ

ENEOS グローブ(株)は7月13日、本社で①食からはじまる「雑談力」アップ講座②「家電製品」提案力養

成研修一の2講座を開催した。「2017 ECO&EARTH キャンペーン」のフォローアップ研修として実施するもの。「雑談力」では浅野まみこ(株)エビータ講師が主婦に関心が高い「食・健康・美容」などの雑談から商品提案に繋げる手法について説明。また「家電製品」では、戸井田園子・家電コーディネーターとさるびあ亭かこ紙芝居師を講師に家電のトレンドや紙芝居による提案話法などを学んだ。



岩谷産業、岡山市に水素 ST 建設へ 主要機器パッケージ化、都市型モデルとして注目

岩谷産業(株)は、このほど岡山県内初となる「イワタニ水素ステーション岡山南(仮称)」(定置式)を2017年度内に建設すると発表した。主要機器類をユニット化してひとつのパッケージ内に収める方式を採用し、省スペース化と現地工事縮小による建設コスト削減を図る。燃料電池車(FCV)の普及による充填台数の増加には、圧縮水素の貯蔵量を増加させることで対応する。岡山県は関西と四国、九州を繋ぐ要所で、県内のFCVユーザーに加え既に水素STが営業している隣接地域から他地域への移動時の中継充填拠点として設置の期待が高まっている。同社では、「今後も水素ST整備を進め、FCVの早期普及及び利用者の利便性向上に貢献していく」とコメントした。

〔水素ステーション概要〕▷所在地：岡山市南区藤田字錦 2094-2▷敷地面積：約 834 m²▷水素供給：圧縮水素オフサイト供給▷供給能力：150N m³/h (1時間当りFCV3台の満充填が可能)▷充填圧力：82MPa▷設備構成：圧縮機、蓄圧器、プレクーラー、ディスペンサーなど

東電・日ガス新会社設立

東京電力エナジーパートナー(株)と日本瓦斯(株)は都市ガス小売事業のシステムを請負うプラットフォーム新会社設立について3日、東京・千代田区の手町サンケイプラザで記者会見を開いた。(詳細次号)